



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 OSJBホールディングス株式会社
 コード番号 5912 URL <http://www.osjb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画担当
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 井岡 隆雄
 (氏名) 橋本 幸彦

TEL 03-6220-0601

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	36,899	3.6	2,382	△37.0	2,428	△36.2	2,077	△38.7
28年3月期第3四半期	35,608	14.9	3,784	193.8	3,804	183.8	3,390	235.6

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 2,167百万円 (△36.6%) 28年3月期第3四半期 3,420百万円 (225.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	17.32	—
28年3月期第3四半期	27.68	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年3月期第3四半期	41,759	—	23,188	—	55.5	193.71
28年3月期	39,924	—	22,047	—	55.2	182.12

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 23,188百万円 28年3月期 22,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	1.0	2,600	△37.6	2,600	△37.8	1,800	△46.3	14.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	122,513,391 株	28年3月期	122,513,391 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,805,304 株	28年3月期	1,454,313 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	119,935,451 株	28年3月期3Q	122,485,105 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部新興国経済に弱さが見られるものの海外景気が緩やかに回復しているなか、輸出、生産に持ち直しの動きが見られ、企業業績にも底入れの動きが見られます。企業の業況感も幾分改善するなか、設備投資は緩やかな増加基調にあります。個人消費にも持ち直しの動きが見られ、景気は一部に改善の遅れが見られますが緩やかな回復基調が続いています。

公共投資につきましては、国の平成28年度一般会計予算において、補正予算措置が講じられ、補正後の公共事業関係費は前年度を上回っており、更に第3次補正予算案において「災害対策」に係る予算措置を講じることが閣議決定されています。当四半期における公共工事請負金額においては前年比微増と底堅い動きとなっており、先行きについては補正予算による押し上げ効果が見込まれます。

このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は、511億3百万円（前年同四半期比44.5%増）となりました。ニューマチックケーソン工事、橋梁の補修補強工事、一般土木工事など建設事業での順調な受注獲得が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間の主要な受注は、以下のとおりであります。

(建設事業)

・ニューマチックケーソン工事

鹿島・日本ピーエス・吉光北陸新幹線、大聖寺川橋りょう他特定建設工事共同企業体「北陸幹大聖寺川橋梁」

・コンクリートの新設橋梁工事

国土交通省「東北中央自動車道 今田高架橋藪内地区上部工工事」

・橋梁の補修補強工事

中日本高速道路株式会社「中央自動車道（特定更新等）辰野TN～伊北IC間改良工事（平成28年度）」

・一般土木工事

株式会社加藤建設「平成27年度 東海環状北金井橋梁下部工事」

(鋼構造物事業)

・鋼構造の新設橋梁工事

群馬県「社会資本総合整備（仮称）岡崎ICランプ橋上部工製作架設工事」

売上につきましては、大きな工程の遅れもなく進捗が順調に推移したことにより、売上高は368億9千9百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注および売上の状況により、543億3千万円（前年同四半期比26.0%増）となりました。

損益面では、売上総利益は51億8千9百万円（前年同四半期比19.1%減）、営業利益は23億8千2百万円（前年同四半期比37.0%減）、経常利益は24億2千8百万円（前年同四半期比36.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億7千7百万円（前年同四半期比38.7%減）となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設事業

当セグメントの売上高は316億1千1百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益(営業利益)は25億1千4百万円（前年同四半期比35.4%減）となりました。

② 鋼構造物事業

当セグメントの売上高は、52億2千5百万円（前年同四半期比10.3%増）、セグメント利益(営業利益)は4千9百万円（前年同四半期比44.1%減）となりました。

③ その他

太陽光発電による売電事業により、売上高は6千1百万円（前年同四半期比10.5%増）、セグメント利益(営業利益)は1千7百万円（前年同四半期比69.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は417億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億3千5百万円増加いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4.7%増加し、317億1千万円となりました。これは、立替金が12億5千万円減少しましたが、受取手形・完成工事未収入金が21億7千4百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4.2%増加し、100億4千9百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7.6%減少し、124億4千7百万円となりました。これは、未払金が6億3千万円、預り金が4億5千8百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ39.0%増加し、61億2千4百万円となりました。これは、長期借入金が17億5千万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5.2%増加し、231億8千8百万円となり、自己資本比率は55.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第3四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,379	8,028
受取手形・完成工事未収入金	18,390	20,565
未成工事支出金	300	342
材料貯蔵品	138	144
繰延税金資産	580	592
立替金	2,279	1,029
その他	235	1,032
貸倒引当金	△22	△24
流動資産合計	30,279	31,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	865	825
機械及び装置（純額）	2,886	2,638
土地	3,767	4,225
建設仮勘定	219	261
その他（純額）	136	143
有形固定資産合計	7,875	8,093
無形固定資産	117	252
投資その他の資産		
投資有価証券	1,323	1,387
破産更生債権等	640	640
繰延税金資産	117	111
その他	262	254
貸倒引当金	△692	△689
投資その他の資産合計	1,651	1,703
固定資産合計	9,644	10,049
資産合計	39,924	41,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	7,646	7,981
1年内返済予定の長期借入金	-	214
1年内償還予定の社債	100	100
未払金	1,191	560
未払法人税等	326	86
未成工事受入金	1,321	1,645
預り金	1,358	900
工事損失引当金	422	249
完成工事補償引当金	252	298
その他	849	411
流動負債合計	13,469	12,447
固定負債		
長期借入金	-	1,750
社債	250	200
繰延税金負債	407	427
退職給付に係る負債	3,748	3,745
その他	2	2
固定負債合計	4,407	6,124
負債合計	17,877	18,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	453	453
利益剰余金	21,247	22,599
自己株式	△311	△611
株主資本合計	22,390	23,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	165
退職給付に係る調整累計額	△460	△418
その他の包括利益累計額合計	△342	△252
純資産合計	22,047	23,188
負債純資産合計	39,924	41,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高		
完成工事高	35,608	36,899
売上原価		
完成工事原価	29,196	31,709
売上総利益		
完成工事総利益	6,411	5,189
販売費及び一般管理費	2,626	2,807
営業利益	3,784	2,382
営業外収益		
特許権使用料	7	50
受取保険料	-	28
債務取崩益	22	-
その他	36	44
営業外収益合計	66	123
営業外費用		
支払利息	5	4
前受金保証料	18	21
支払手数料	5	18
設備復旧費用	-	28
その他	17	6
営業外費用合計	46	78
経常利益	3,804	2,428
特別利益		
固定資産売却益	-	20
特別利益合計	-	20
税金等調整前四半期純利益	3,804	2,448
法人税、住民税及び事業税	296	476
過年度法人税等	-	△96
法人税等調整額	117	△9
法人税等合計	414	370
四半期純利益	3,390	2,077
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,390	2,077

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,390	2,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	48
退職給付に係る調整額	5	41
その他の包括利益合計	30	89
四半期包括利益	3,420	2,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,420	2,167
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	489	4.00	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	726	6.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,816	4,735	35,552	55	35,608	—	35,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	42	65	—	65	△65	—
計	30,839	4,778	35,618	55	35,673	△65	35,608
セグメント利益	3,894	88	3,983	10	3,993	△208	3,784

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△208百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社（OSJBホールディングス㈱）及び連結子会社（㈱白石ホームズ）における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、太陽光発電による売電事業を開始しております。当該事業の開始により報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を追加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,611	5,225	36,837	61	36,899	—	36,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58	32	90	—	90	△90	—
計	31,669	5,258	36,928	61	36,990	△90	36,899
セグメント利益	2,514	49	2,563	17	2,580	△197	2,382

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△197百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社（OSJBホールディングス㈱）及び連結子会社（㈱白石ホームズ）における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況

I 受注高

区 分	前第3四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	33,380	47,272	13,892	41.6	39,656
鋼構造物事業	1,921	3,769	1,847	96.1	5,543
その他	55	61	5	10.5	71
合 計	35,358	51,103	15,745	44.5	45,271

II 売上高

区 分	前第3四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	30,816	31,611	795	2.6	41,846
鋼構造物事業	4,735	5,225	489	10.3	6,601
その他	55	61	5	10.5	71
合 計	35,608	36,899	1,291	3.6	48,519

III 受注残高

区 分	前第3四半期 (平成27年12月31日)	当第3四半期 (平成28年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (平成28年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	39,332	50,239	10,906	27.7	34,578
鋼構造物事業	3,791	4,090	299	7.9	5,547
その他	—	—	—	—	—
合 計	43,123	54,330	11,206	26.0	40,125